



CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区

いわき勿来ロータリー・クラブ

会長 鈴木修一郎
幹事 鈴木 雅之
SAA 矢代 昭雄
会報小委員長 児玉 健二

2010～2011年国際ロータリーのテーマ

○例会日 毎週水曜日(12:30～13:30) ○事務所 いわき市植田町中央一丁目6番地の9
○例会場 ホテルミドリ ○〒974-8261 ホテルミドリ内
TEL0246-62-3737

第2380回 例会 平成22年10月6日(水・晴)

ゲスト

いわき市勿来消防署

救急第2係長 渡部 正宏 様
米山記念奨学生 朱 美善 様

君が代

ロータリーの綱領 鈴木修一郎会長
—今月は職業奉仕及び米山月間です—

◎会長報告—鈴木修一郎会長

皆さん、今日は。10月は職業奉仕と米山月間になっています。今月のプログラムはすでに皆様に届いていると思いますが、来週13日は6号バイパスのゴミ拾い、17日は地区大会、20日は職業奉仕委員会による移動例会、27日はクラブ協議会で地区大会報告というスケジュールになっています。皆様のご出席宜しくお願い致します。まず本日のゲストをご紹介します。米山記念奨学生の朱美善さんです。後程奨学金をお渡し致します。それと韓国へ帰国された時のお話もお聞かせ下さい。それからゲスト卓話をして戴くいわき市勿来消防署救急第2係長渡部正宏様です。今日は救急の現状と問題点についてお話を頂戴することになっております。宜しくお願い致します。今日は本当に良い天気です。私の家の金木犀が咲きその匂いを感じながら秋風も感じているところです。先月10月2日に第2回猪苗代湖水草清掃を勿来クラブから10名出席で参加して参りました。その後私と渡邊公平ガバナー補佐は米山セミナーに出席して来ました。今年度第2530地区では約20名の学生さんを受け入れております。20名のうち14名は新規で入った方で6名は継続になります。米山奨学金活動は日本独自の活動で一番多いのが中国の方で約30パーセント、韓国の方が24パーセント、台湾の方が21パーセント、マレーシアの方が5パーセント、ベトナムの方が3パーセントの比率になっています。卒業すると校友会になりますので末永いお付き合いをお願いします。それでは朱さんへ奨学金をお渡し致しますので前の方へどうぞ。

◎米山記念奨学生挨拶

東日本国際大学 朱 美善さん
皆さん、今日は。先月の1日に帰国し、先週の土

曜日に日本に戻って来ました。約1か月の本当に楽しい時間を過ごして来ました。お土産に韓国の伝統工芸品の仮面を買って来ましたので是非お飾り下さい。ありがとうございました。

◎退会会員挨拶—神白信一会員

10月1日付で私総務部長から異動になり後任に佐野健という者が付くことになりました。後任が引き続きロータリークラブにお世話になりますので宜しくお願い致します。私は2007年5月よりこちらにお世話になり、3年5カ月の間いろいろ勉強させて戴きました。勿来、植田の地域のリーダーの皆様とお付き合いをさせて戴き3年5カ月は私の人生の宝物になりました。半年間は担当部長として後任に引き継ぎを予定していますので今後も皆様とお会いすることもあるかと思っております。本当にお世話になりました。

◎幹事報告—鈴木雅之幹事

・本日例会終了後理事会がありますので宜しくお願いします。
・本日18時30分よりホテルミドリでパスト会長会議を開きます。
・地区大会に出席される方が現在30名となっています。当日はホテルミドリを6時に出発予定です。
来週詳細なスケジュールは皆さんにご連絡出来ると思います。
・グローバルチャリティーコンサートの案内が届いています。福島グローバルロータリークラブよりチケットも来ていますので興味のある方は私の方へどうぞ。

・いわき平東、いわき鹿島各ロータリークラブより10月のプログラムが届いていますので回覧中です。

◎鈴木修一郎会長へポール・ハリス・フェローのバッチを贈呈



ロータリー財団よりポール・ハリス・フェローのバッチが鈴木修一郎会長へ届いておりますのでお渡し致します。

◎各委員会報告

◇出席委員会—越田和小委員長

本日の出席状況は前頁下記の通りです。

◇スマイルボックス委員会—矢吹小委員長

・いわき市勿来消防署救急第2係長渡部正宏様の卓話を歓迎して。鈴木、押田、児玉、佐藤(次)、富岡、矢吹、船橋、斉藤、後藤、荒川、金成、関根、佐藤(政)、渡辺(勉)、横木、橋本、小熊、松崎、林、越田和各会員及び鈴木(修)会長、高萩副会長、鈴木(雅)幹事
・本日の例会をもって退会します。3年5カ月間大変お世話になりました。ありがとうございました。

神白信一会員

・前回例会休んでごめんなさい。

越田和、川口、白土各会員

・しばらく休んでごめんなさい。長期休暇ありがとうございました。

佐藤次男会員

・本日早退ごめんなさい。

佐久間会員

・観月会写真ありがとうございました。

遠藤会員、渡邊公平ガバナー補佐

・誕生祝いありがとうございました。

山下、佐藤(次)、丹野各会員

◇親睦活動委員会—佐藤政司小委員長

今月の誕生者の会員へ誕生祝を差し上げます。丹野富二男会員、山下喜一副幹事、佐藤次男会員前の方へどうぞ。おめでとうございます。



◇職業奉仕委員会—橋本委員長

10月20日水曜日の例会は職業奉仕担当で日産自動車(株)いわき工場での移動例会の予定です。ミドリで昼食と例会が終わり次第日産いわき工場へ移動して約2時間工場の見学になりますので宜しくお願いします。

◎ゲスト卓話



いわき市勿来消防署 救急第2係長 渡部 正宏 様
皆様、今日は。大変貴重な時間を頂戴しありがとうございます。本日は「救急の現状と問題点」についてお話をさせていただきます。

1 救急出動の現況

2009年1年間のいわき市における救急出動件数は11,256件で、救急搬送人員は10,227人でした。過去15年のデータを比較してみると毎年増加の傾向にありましたが、平成18年の12,751件をピークに3年間減少し、また昨年から増加へと転じています。

ちなみに今年9月までのデータを見ると、昨年同期からすでに58件増え、今後また増加の一途を辿るのではないかと懸念されます。

2 傷病程度別搬送人員

傷病程度別に見てみると、生命の危機は無いが入院を必要とする「中等症」が47.3%と最も多くを占め、次いで入院の必要が無い「軽症」が39.0%を占めています。

これは平成21年のデータですが、毎年、中等症が45%前後、軽症が40%前後と、ほぼ同じような数値を示しており、救急出動の約85%が、生命に危機を生じていない中等症や軽症であることがわかります。

3 近年の特徴

社会構造の変化、特に急速に進行する高齢化社会において、救急隊を取り巻く環境も変化してきています。

65歳以上の高齢者の搬送について過去15年間のデータを見ると、平成7年の37.4%から年々その割合が増加し、一昨年にはついに50%を超え、昨年は、51.3%と、救急搬送の半数以上が高齢者となっています。

ちなみに平成20年の日本の高齢化率が22.1%という現状から見れば、止むを得ないことかも知れない。いわき市内には、合計13台の救急車が配備されていますが、人口や地理的環境から鑑みた場合、十分とは言いがたい状況にあります。

たとえば、勿来消防署に配備されている救急車のは1台であり、南は勿来町、北は小浜町、西は田人町までと、広大な管轄を1台だけでカバーしているのが現状です。

もし勿来救急隊が出動中に他の救急要請があった場合、近隣の救急車が現場に向かうこととなりますが、現場到着までに少なくとも、10分程度の余計な時間がかかってしまいます。この10分は、時として人の生命を救うこともあります。平成21年中、勿来管内に別の救急隊が出動した件数は243件で、勿来救急隊の全出動件数1,351件の約18%にも上ることがわかります。

この中には勿来救急隊が軽症者を搬送している間に、他救急隊が重症事案、特に心肺停止事案に対応したことも少なくありません。

これらの事案には、近くの救急隊が対応していたら、救命できたかもしれない事案が隠れていることを忘れてはなりません。

いざという時にはすぐに駆けつけて助けてくれる、それが本来の救急車の目的であり、私たち救急隊員の使命でもあります。

出席状況

正会員数 53名
本日の出席率 83.67%

修正出席率 93.88%